

令和5年度 事業報告書

学校法人 武蔵野大学

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人の名称：学校法人武蔵野大学
主たる事務所の住所、電話番号、ホームページアドレス
東京都江東区有明三丁目3番3号
03-5530-7333（代表）
<https://www.musashino-u.ac.jp>

(2) 建学の精神

この法人は、仏教精神並びに教育基本法及び学校教育法に従い、有為の女子を育成すると共に男女共同参画社会の実現に資する教育及び幼児教育を行うことを目的とする。

(3) 学校法人の沿革

大正13 (1924)年 東京都中央区築地に「武蔵野女子学院」創設。
昭和02 (1927)年 武蔵野女子学院高等女学校設立。
昭和04 (1929)年 保谷村（現：西東京市、現在の武蔵野キャンパス）に移転。
昭和22 (1947)年 新学制により武蔵野女子学院高等女学校は
武蔵野女子学院中学校、武蔵野女子学院高等学校となる。
昭和25 (1950)年 武蔵野女子短期大学設立。
昭和29 (1954)年 武蔵野女子短期大学を武蔵野女子学院短期大学に名称変更。
昭和40 (1965)年 武蔵野女子大学設立。
武蔵野女子学院短期大学を武蔵野女子大学短期大学部に名称変更。
昭和42 (1967)年 武蔵野女子学院幼稚園設立。
昭和61 (1986)年 武蔵野女子学院幼稚園を武蔵野女子大学附属幼稚園に名称変更。
平成11 (1999)年 武蔵野女子大学大学院設立。
平成15 (2003)年 武蔵野女子大学を武蔵野大学に、武蔵野女子大学附属幼稚園を武蔵野大学
附属幼稚園に名称変更。
平成16 (2004)年 武蔵野大学男女共学化。
平成18 (2006)年 武蔵野女子大学短期大学部を廃止。
平成24 (2012)年 学校法人武蔵野女子学院を学校法人武蔵野大学に名称変更。
江東区有明に有明キャンパスを開設。
平成28 (2016)年 学校法人武蔵野大学と学校法人千代田女学園が法人合併。
平成29 (2017)年 武蔵野大学附属慈光保育園設立。
平成30 (2018)年 千代田女学園高等学校を男女共学化し、武蔵野大学附属千代田高等学院に
名称変更。
令和元 (2019)年 武蔵野女子学院中学校・高等学校を武蔵野大学中学校・高等学校に名称変更し、
武蔵野大学中学校を男女共学化。
令和2 (2020)年 武蔵野大学高等学校を男女共学化。武蔵野大学附属有明こども園設立。
令和4 (2022)年 千代田女学園中学校を男女共学化し、千代田国際中学校に名称変更。

(4) 設置する学校・学部・学科等

(令和5年5月1日現在)

設置校	研究科・学部等	専攻・学科等
武蔵野大学	大学院	
	文学研究科	日本文学専攻 (修士課程/博士後期課程)
	言語文化研究科	言語文化専攻 (修士課程/博士後期課程)
	法学研究科	ビジネス法務専攻 (修士課程/博士後期課程)
	政治経済学研究科	政治経済学専攻 (修士課程/博士後期課程)
	経営学研究科	会計学専攻 (修士課程)
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻 (修士課程/博士後期課程)
	人間社会研究科	人間学専攻 (修士課程/博士後期課程) 実践福祉学専攻 (修士課程)
	仏教学研究科	仏教学専攻 (修士課程/博士後期課程)
	工学研究科	数理工学専攻 (修士課程/博士後期課程) 建築デザイン専攻 (修士課程)
	環境学研究科	環境マネジメント専攻 (修士課程) 環境システム専攻 (博士後期課程)
	教育学研究科	教育学専攻 (修士課程)
	薬科学研究科	薬科学専攻 (修士課程/博士後期課程)
	看護学研究科	看護学専攻 (修士課程/博士後期課程)
	通信教育部 人間社会研究科	人間学専攻 (修士課程) 実践福祉学専攻 (修士課程)
	通信教育部 仏教学研究科	仏教学専攻 (修士課程)
	通信教育部 環境学研究科	環境マネジメント専攻 (修士課程)
	大学	
	文学部	日本文学文化学科
	グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 グローバルビジネス学科
法学部	法律学科 政治学科	
経済学部	経済学科 経営学科 [平成31年度募集停止] 会計ガバナンス学科 [平成31年度募集停止]	
経営学部	経営学科 会計ガバナンス学科	
アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科	
データサイエンス学部	データサイエンス学科	
政治経済学部	政治経済学科 [平成26年度募集停止]	
人間科学部	人間科学科 社会福祉学科	
☆工学部	サステナビリティ学科 環境システム学科 [令和5年度募集停止] 数理工学科 建築デザイン学科	
教育学部	教育学科 幼児教育学科	
薬学部	薬学科	
看護学部	看護学科	
通信教育部 人間科学部	人間科学科	
通信教育部 教育学部	教育学科	
専攻科 (言語聴覚士養成課程)		
別科 (日本語教育課程、介護福祉士養成課程)		
武蔵野大学高等学校 全日制課程普通科		
武蔵野大学中学校		
武蔵野大学附属千代田高等学院 全日制課程普通科		
千代田国際中学校		
武蔵野大学附属幼稚園		
武蔵野大学附属慈光保育園 (企業内保育所)		
武蔵野大学附属有明こども園		

●募集停止 ☆令和5年度開設

(5) 学校・学部・学科等の学生等数の状況

(令和5年5月1日現在/単位:人)

設置校	研究科・学部等	専攻・学科等	入学(園)定員	入学(園)者数	収容定員	在学(園)者数		
大学院	文学研究科	日本文学専攻(修士課程)	7	6	14	10		
	言語文化研究科	言語文化専攻(修士課程)	55	18	110	64		
	法学研究科	ビジネス法務専攻(修士課程)	10	4	20	6		
	政治経済学研究科	政治経済学専攻(修士課程)	10	2	20	3		
	経営学研究科	会計学専攻(修士課程)	10	6	20	18		
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻(修士課程)	10	10	20	15		
	人間社会研究科	人間学専攻(修士課程)	30	24	60	52		
		実践福祉学専攻(修士課程)	7	2	14	4		
	仏教学研究科	仏教学専攻(修士課程)	5	0	10	2		
	工学研究科	数理工学専攻(修士課程)	15	8	30	11		
		建築デザイン専攻(修士課程)	15	10	30	12		
	環境学研究科	環境マネジメント専攻(修士課程)	10	4	20	7		
	教育学研究科	教育学専攻(修士課程)	10	7	20	15		
	薬科学研究科	薬科学専攻(修士課程)	5	2	10	2		
	看護学研究科	看護学専攻(修士課程)	10	3	20	10		
			修士課程計	209	106	418	231	
	大学院	文学研究科	日本文学専攻(博士後期課程)	2	0	6	1	
		言語文化研究科	言語文化専攻(博士後期課程)	2	0	6	4	
		法学研究科	ビジネス法務専攻(博士後期課程)	3	2	9	5	
		政治経済学研究科	政治経済学専攻(博士後期課程)	3	0	9	0	
		データサイエンス研究科	データサイエンス専攻(博士後期課程)	3	3	6	6	
		人間社会研究科	人間学専攻(博士後期課程)	3	3	9	8	
		仏教学研究科	仏教学専攻(博士後期課程)	2	0	6	3	
		工学研究科	数理工学専攻(博士後期課程)	2	0	6	0	
		環境学研究科	環境システム専攻(博士後期課程)	2	2	6	3	
		薬科学研究科	薬科学専攻(博士後期課程)	5	1	15	6	
		看護学研究科	看護学専攻(博士後期課程)	3	0	9	10	
				博士後期課程計	30	11	87	46
				大学院計	239	117	505	277
		大学	文学部	日本文学文化学科	200	202	835	822
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科		165	117	666	536		
	日本語コミュニケーション学科		80	76	330	308		
	グローバルビジネス学科		55	44	234	217		
法学部	法律学科		190	194	769	737		
	政治学科		100	104	409	398		
経済学部	経済学科		175	183	709	732		
	経営学科 ※1		-	-	-	4		
	会計ガバナンス学科 ※1		-	-	-	0		
経営学部	経営学科		220	224	889	885		
	会計ガバナンス学科		90	107	360	369		
アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科		60	58	180	178		
データサイエンス学部	データサイエンス学科		90	98	340	348		
政治経済学部 ※2	政治経済学科 ※2		-	-	-	0		
人間科学部	人間科学科		215	232	866	908		
	社会福祉学科		145	135	604	542		
工学部	サステナビリティ学科		70	80	70	80		
	環境システム学科 ※3		-	-	210	210		
	数理工学科		60	53	240	236		
	建築デザイン学科	70	79	280	294			
教育学部	教育学科	120	113	480	463			
	幼児教育学科	100	96	400	397			
薬学部	薬学科	145	136	915	828			
看護学部	看護学科	125	117	520	493			
		大学計	2,475	2,448	10,306	9,985		
通信教育部	大学院 人間社会研究科	人間学専攻(修士課程)	60	65	120	219		
		実践福祉学専攻(修士課程)	10	10	20	25		
	大学院 仏教学研究科	仏教学専攻(修士課程)	20	13	40	61		
	大学院 環境学研究科	環境マネジメント専攻(修士課程)	10	11	20	37		
	大学 人間科学部	人間科学科 ※4	250	174	2,400	3,036		
	大学 教育学部	教育学科 ※5	15	4	227	154		
		通信教育部計	365	277	2,827	3,532		
専攻科(言語聴覚士養成課程)			30	8	60	17		
別科(日本語教育課程)			90	77	90	129		
別科(介護福祉士養成課程)			40	5	80	7		
武蔵野大学高等学校			400	402	1,200	935		
武蔵野大学中学校			250	176	750	519		
武蔵野大学附属千代田高等学院			200	136	600	363		
千代田国際中学校			100	99	200	171		
武蔵野大学附属幼稚園			96	79	288	225		
武蔵野大学附属慈光保育園			12	6	12	12		
武蔵野大学附属有明こども園			80	67	280	239		

※1 平成31年度経営学部経営学科、会計ガバナンス学科に改組

※4 3年次編入学定員700人

※2 平成26年度法学部法律学科、政治学科と経済学部経済学科、経営学科に改組

※5 2年次編入学定員55人

※3 令和5年度工学部サステナビリティ学科に改組

(6) 収容定員充足率

(令和5年5月1日現在/単位:人・%)

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率
武蔵野大学大学院	427	276	64.63	464	304	65.51	479	304	63.46	497	302	60.76	505	277	54.85
武蔵野大学	9,348	8,965	95.90	9,832	9,200	93.57	10,260	9,698	94.52	10,278	9,872	96.04	10,306	9,985	96.88
武蔵野大学大学院通信教育部	200	293	146.50	200	332	166.00	200	334	167.00	200	334	167.00	200	342	171.00
武蔵野大学通信教育部	2,721	3,140	115.39	2,638	2,947	111.71	2,606	3,076	118.03	2,574	3,273	127.15	2,627	3,190	121.43
専攻科 (言語聴覚士養成課程)	60	26	43.33	60	24	40.00	60	29	48.33	60	26	43.33	60	17	28.33
別科 (日本語教育課程、介護福祉士養成課程)	90	57	63.33	130	88	67.69	170	77	45.29	170	80	47.05	170	136	80.00
武蔵野大学高等学校	1,200	593	49.41	1,200	876	73.00	1,200	909	75.75	1,200	1,004	83.66	1,200	935	77.91
武蔵野大学中学校	750	253	33.73	750	375	50.00	750	480	64.00	750	530	70.66	750	519	69.20
武蔵野大学附属千代田高等学院	600	322	53.66	600	529	88.16	600	576	96.00	600	502	83.66	600	363	60.50
千代田国際中学校	400	16	4.00							100	74	74.00	200	171	85.50
武蔵野大学附属幼稚園	288	298	103.47	288	273	94.79	288	238	82.63	288	231	80.20	288	225	78.12
武蔵野大学附属慈光保育園	12	12	100.00	12	12	100.00	12	12	100.00	12	11	91.66	12	12	100.00
武蔵野大学附属有明こども園				280	178	63.57	280	246	87.85	280	251	89.64	280	239	85.35
総計	16,096	14,251	88.53	16,454	15,138	92.00	16,905	15,979	94.52	17,009	16,490	96.94	17,198	16,411	95.42

(7) 役員の概要

定数(理事) : 12名以上16名以内 現員数 : 15名
 定数(監事) : 2名 現員数 : 2名

(令和5年5月1日現在)

種別	氏名	就任年月日	常勤・非常勤	業務執行・非業務執行	現職等
理事	長野 了法	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学理事長
	山崎 秀保	令和3年5月24日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学経営企画担当常務理事
	西本 照真	平成28年4月1日	常勤	業務執行	武蔵野大学長
	落合 恒	令和3年1月29日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学大学経営担当常務理事
	中村 好孝	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学中高等経営担当常務理事
	横山 尚佳	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学事務局長
	荒川 智行	平成25年2月14日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派信行寺住職
	中尾 史峰	令和4年8月26日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派築地本願寺代表役員宗務長
	池田 行信	令和2年11月19日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派東京教区選出宗会議員
	小林 泰善	令和4年4月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派東京教区教区会議長
	平田 史郎	平成24年10月1日	非常勤	非業務執行	学校法人平田学園理事長
	白川 了信	平成24年6月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派法要庶務部長
	若原 雄昭	令和4年7月26日	非常勤	非業務執行	龍谷大学名誉教授
監事	石上 智康	平成4年6月16日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派総長
	大河原 遼平	令和2年6月1日	非常勤	非業務執行	弁護士
	松下 武義	令和2年6月1日	非常勤	非業務執行	—
	斯波 照雄	令和4年4月1日	非常勤	非業務執行	中央大学名誉教授

責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

【契約名称】
 会社役員賠償責任保険
 【被保険者】
 役員(理事16名、監事2名 寄附行為上の定数)
 【契約内容】
 被保険者が役員としての業務につき行った行為(不作為を含む)に起因して保険期間中に被保険者に対して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害に対して保険金の支払いが行われる。
 【支払対象】
 法律上の損害賠償責任に基づく賠償金、損害賠償請求に関する争訟によって支出した訴訟費用、弁護士報酬等の費用。
 【限度額】
 5億円
 【契約期間】
 令和5年5月1日午後4時 ~ 令和6年5月1日午後4時
 【契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置】
 当該保険契約の被保険者は本学の理事及び監事であり、すべての被保険者について、その保険料を全額本法人が負担している。

(8) 評議員の概要

定数：28名以上34名以内

現員数：30名

(令和5年5月1日現在)

氏名	就任年月日	現職等
日野田 直彦	平成30年4月1日	中高等学校園長、千代田国際中学校校長
木村 健太	令和5年4月1日	武蔵野大学附属千代田高等学院校長
石上 和敬	令和2年7月1日	武蔵野大学附属幼稚園園長
井土 満	令和5年4月1日	武蔵野大学附属有明こども園園長
上岡 学	令和2年6月1日	武蔵野大学副学長
小西 聖子	令和3年4月1日	武蔵野大学副学長
北條 英勝	令和2年6月1日	武蔵野大学副学長
村松 陸雄	令和2年6月1日	武蔵野大学教務部長
伊藤 泰彦	令和2年6月1日	武蔵野大学学生部長
小村 光子	令和5年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校教頭
岡田 孝子	平成28年6月14日	武蔵野大学附属千代田高等学院教頭
本橋 一聰	令和3年1月29日	学校法人武蔵野大学事務局次長
長野 了法	令和2年6月1日	学校法人武蔵野大学理事長
池田 行信	令和2年7月1日	浄土真宗本願寺派東京教区選出宗会議員
若原 雄昭	令和4年5月26日	龍谷大学名誉教授
石上 智康	令和4年4月1日	浄土真宗本願寺派総長
柳川 信澄	平成9年4月1日	—
藤谷 光信	平成19年4月1日	岩国南幼稚園学園長
安永 雄彦	平成29年11月20日	浄土真宗本願寺派本願寺執行長
平山 眞見	令和3年4月1日	武蔵野大学同窓会会長
牛田 きぬ	令和3年4月1日	武蔵野大学同窓会副会長
阿部 美枝子	平成25年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会顧問
斧田 留美	令和4年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会会長
長谷川 智子	令和4年4月1日	千代田同窓会会長
小林 泰善	平成19年6月1日	浄土真宗本願寺派東京教区教区会議長
白川 了信	平成24年6月1日	浄土真宗本願寺派法要庶務部長
吉國 眞一	平成20年6月1日	株式会社サンテック社外監査役
西原 祐治	平成23年6月1日	宗教法人西方寺（浄土真宗本願寺派）代表役員
東森 尚人	令和3年11月26日	浄土真宗本願寺派築地本願寺副宗務長
松下 昌文	令和4年4月1日	浄土真宗本願寺派社会部長（龍谷総合学園事務局長）

(9) 教職員の概要

●令和5年度教職員数

(令和5年5月1日現在/単位：人)

		法人	大学	武蔵野大学 高等学校	武蔵野大学 中学校	武蔵野大学附属 千代田高等学院	千代田国際 中学校	武蔵野大学附属 幼稚園	武蔵野大学附属 有明こども園	武蔵野大学附属 慈光保育園	計
教 員	専任										
	教授		187 (181)								187 (181)
	准教授		73 (70)								73 (70)
	講師		※2 70 (67)								70 (67)
	助教		31 (36)								31 (36)
	助手		8 (9)								8 (9)
	教諭			48 (49)	23 (18)	33 (35)	10 (5)	13 (12)	31 (30)		158 (149)
	常勤講師			1	1	(1)		4 (5)			6 (6)
	計		369 (363)	49 (49)	24 (18)	33 (36)	10 (5)	17 (17)	31 (30)		533 (518)
	非常勤										
	講師 (客員を含む)		797 (820)	22 (24)	8 (15)	15 (28)	7				849 (887)
	委託・派遣		158 (107)	5	3						166 (107)
	計		955 (927)	27 (24)	11 (15)	15 (28)	7				1,015 (994)
合計		1,324 (1,290)	76 (73)	35 (33)	48 (64)	17 (5)	17 (17)	31 (30)		1,548 (1,512)	
職 員	専任										
	事務職員	※1 8 (10)	※3 221 (230)	11 (10)		4 (4)		3 (2)	4 (4)	1 (1)	252 (261)
	実習助手		2 (2)								2 (2)
	特別研究員		2								2
	外国語 指導助手			1	1	1	1				4
	保育士									3 (3)	3 (3)
	嘱託		39 (37)	5 (7)	(1)	1 (3)		(1)	2 (1)		47 (50)
	計	8 (10)	264 (269)	17 (17)	1 (1)	6 (7)	1	3 (3)	6 (5)	4 (4)	310 (316)
	非常勤										
	嘱託		111 (109)	11 (7)		3 (3)	1	20 (14)	22 (28)	9 (9)	177 (170)
計		111 (109)	11 (7)		3 (3)	1	20 (14)	22 (28)	9 (9)	177 (170)	
合計	8 (10)	375 (378)	28 (24)	1 (1)	9 (10)	2	23 (17)	28 (33)	13 (13)	487 (486)	
総計	8 (10)	1,699 (1,668)	104 (97)	36 (34)	57 (74)	19 (5)	40 (34)	59 (63)	13 (13)	2,035 (1,998)	

[注] 1. ()内は、令和4年5月1日現在の数字を示す。

2. 大学に通信教育部教職員を含む。

※1. 出向者2名を含む。

※2. 出向受入者4名を含む。

※3. 出向受入者1名を含む。

(10) その他

① 大学組織図

(令和5年5月1日現在)

I. 学部・学科等

大学院	文学研究科	日本文学専攻	修士課程 博士後期課程	
	言語文化研究科	言語文化専攻	言語文化コース	修士課程
			ビジネス日本語コース	博士後期課程
	法学研究科	ビジネス法務専攻	修士課程 博士後期課程	
	政治経済学研究科	政治経済学専攻	修士課程 博士後期課程	
	経営学研究科	会計学専攻	修士課程	
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻	修士課程 博士後期課程	
	人間社会研究科	人間学専攻	人間行動学コース	修士課程
			臨床心理学コース	
			言語聴覚コース	
		実践福祉学専攻	博士後期課程	
	仏教学研究科	仏教学専攻	修士課程 博士後期課程	
	工学研究科	数理工学専攻	修士課程 博士後期課程	
		建築デザイン専攻	修士課程	
	環境学研究科	環境マネジメント専攻	修士課程	
		環境システム専攻	博士後期課程	
	教育学研究科	教育学専攻	修士課程	
	薬学研究科	薬科学専攻	修士課程 博士後期課程	
	看護学研究科	看護学専攻	修士課程 博士後期課程	
	通信教育部	人間社会研究科	人間学専攻	修士課程
実践福祉学専攻			修士課程	
環境学研究科		環境マネジメント専攻	修士課程	
大学	文学部	日本文学文化学科		
	グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科		
		日本語コミュニケーション学科		
		グローバルビジネス学科		
	法学部	法律学科		
		政治学科		
	経済学部	経済学科		
		経営学科 ※1		
		会計ガバナンス学科 ※1		
	経営学部	経営学科		
	アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科		
	データサイエンス学部	データサイエンス学科		
	政治経済学部 ※2	政治経済学科 ※2		
	人間科学部	人間科学科		
		社会福祉学科		
	工学部	サステナビリティ学科		
		環境システム学科 ※3		
		数理工学科		
	教育学部	建築デザイン学科		
		教育学科		
薬学部	薬学学科			
看護学部	看護学学科			
通信教育部	人間科学部	人間科学科	心理学専攻 仏教学専攻 社会福祉専攻	
		教育学部	教育学科	
専攻科 (言語聴覚士養成課程)				
別科 (日本語教育課程)				
別科 (介護福祉士養成課程)				

- ※1 平成31年度経営学部経営学科、会計ガバナンス学科に改組
- ※2 平成26年度法学部法律学科、政治学科と経済学部経済学科、経営学科に改組
- ※3 令和5年度工学部サステナビリティ学科に改組

II. 研究所・研究施設

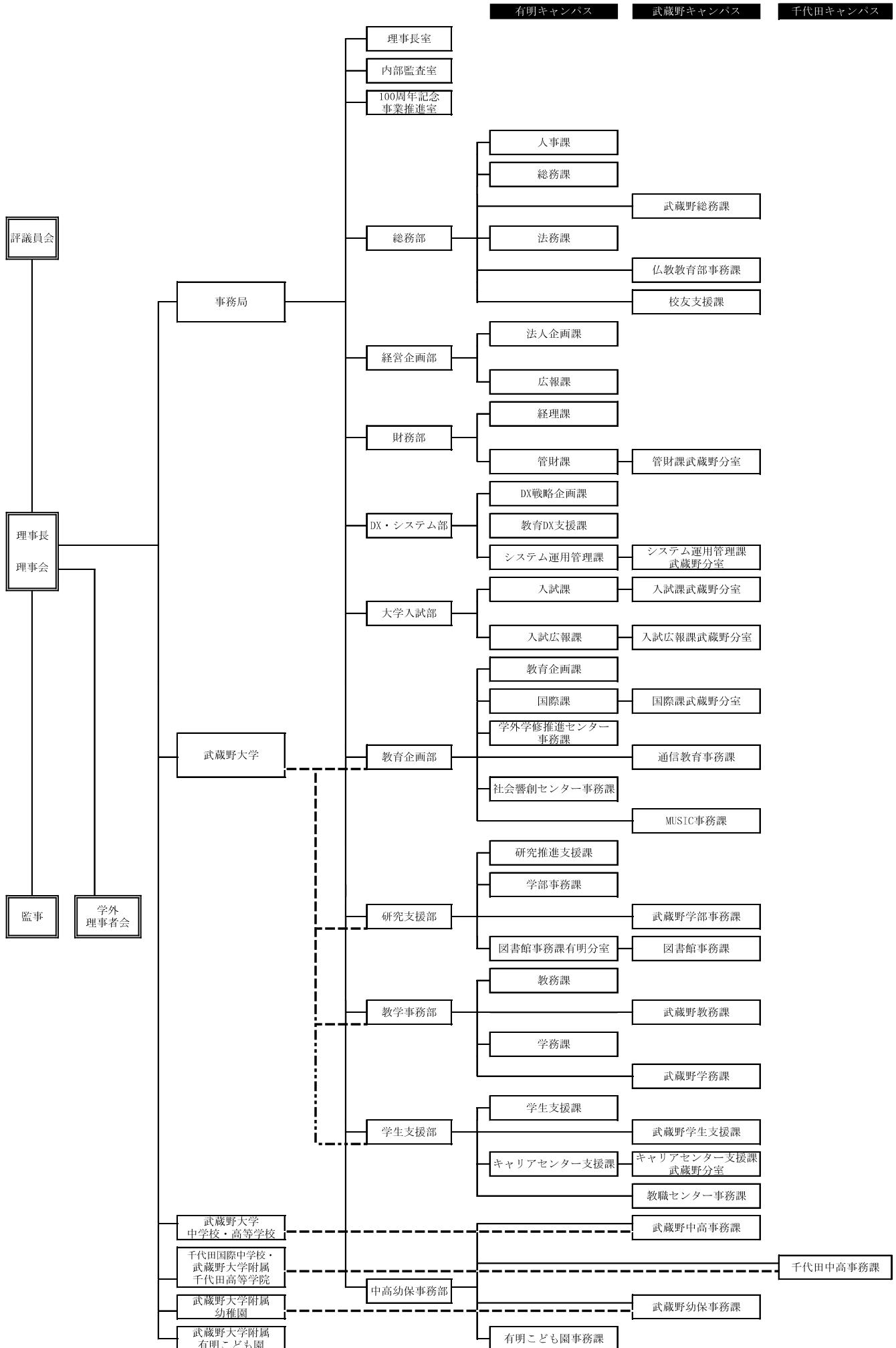
Musashino University Creating Happiness Incubation (武蔵野大学しあわせ研究所)
仏教文化研究所
国際総合研究所
能楽資料センター
教養教育リサーチセンター
武蔵野文学館
日本文学研究所
グローバルスタディーズ研究所
法学研究所
政治経済研究所
経営研究所
アントレプレナーシップ研究所
アジアAI研究所
心理臨床センター
人間科学研究所
認知行動療法研究所
サステナビリティ研究所
教理工学センター
建築研究所
教育学研究所
薬学研究所
臨床薬学センター
薬学キャリア教育研究センター
看護学研究所

III. センター・附属施設等

図書館
学外学修推進センター
教職センター
体育センター
国際センター
ランゲージセンター
ボランティアセンター
産官学連携・研究推進センター
健康管理センター
Musashino University Smart Intelligence Center (MUSIC)
響学開発センター
社会響創センター
キャリアセンター
武蔵野大学孔子学院

② 事務組織図

(令和5年10月1日現在)



2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

① 武蔵野大学・大学院

I. 卒業の認定に関する方針

「アクティブな知」を獲得し、創造的に思考・表現する力を備えて、世界の課題に立ち向かう。
武蔵野大学は、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を養い、一人ひとりの幸せ、世界の幸せに貢献する人材を育成します。

＜知識・専門性＞学びの基礎力を基盤とした専門能力

- ・ 教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる「教養・基礎学力」
- ・ 自ら積極的に専門分野の知識や技能の体系的な修得を行い他者に説明できる「専門能力」

＜関心・態度・人格＞他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

- ・ 自らを他者や社会との関わりのなかで捉え、多様な価値観を認めることができる「自己認識力・他者理解力」
- ・ 自ら課題を感じ取り、共有することができる「課題発見力」
- ・ 自ら積極的に社会に働きかけて、最後まで行動していくことができる「主体性・実行力・ストレスコントロール力」
- ・ 自ら一人ひとりの幸せ、世界の幸せのために行動できる「人格形成・使命感」

＜思考・判断＞課題を多角的に捉え、創造的に考える力

- ・ 自ら積極的に情報収集を行い、問題に対して論理的に思考し、多角的な判断できる「情報分析・論理的思考・判断力」
- ・ 課題に対し、仮説をたてながら、調査、分析して適切な答えを導くことができる「課題解決力」
- ・ 自ら制約された条件の中でも多くの可能な解答を出す発散的な思考ができる「創造的思考力」

＜実践的スキル・表現＞多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

- ・ 自ら複数の言語を活用して、的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる「コミュニケーション力・語学力」
- ・ 自らの考えを明確かつ論理的に組み立て、文書や、図解等を用いて論文や報告書にまとめて発表することができる「表現力」
- ・ 自ら対話を通じて他者と協力し、目標実現のために方向性を示し実行できる「傾聴力・チームワーク・リーダーシップ」

II. 教育課程の編成及び実施に関する方針

武蔵野大学のカリキュラムは、卒業生の一人ひとりが地球規模のつながりの中で生きる一個の人間として、どんな社会においても、またどんな状況・場面にあっても普遍的に求められるさまざまなスキルをすべての学部学生の基礎力として涵養・育成し、時代や国・地域を超えた貢献を適える人材を未来に向けて輩出することを目的としています。

この目的を実現するために体系化された初年次からの全学共通基礎課程「武蔵野 INITIAL」の学修により、その能力開発および定着を徹底する。また、各学部における専門分野の知識と技能が身につけられるように段階的、体系的なカリキュラム編成を行い、それとの連続性をもって学士課程における目標を達成していきます。

Ⅲ. 入学者の受入れに関する方針

武蔵野大学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を養い、「アクティブな知」を備え、創造的に思考・表現することのできる人材を育成し、一人ひとりの幸せ、世界の幸せに貢献していきます。

武蔵野大学の建学の精神、基本目標を理解するとともに、本学の人材育成方針に共感し、教育課程に積極的に取り組む姿勢を持った者の入学を期待しています。入学者の受け入れは、以下に挙げる点に留意して実施します。

- ・ 各学部・研究科の教育目的に相応しい人材を多面的に審査・評価する
- ・ 基礎学力と専門教育に関する教科の理解度、並びに人物の適性等について審査・評価する
- ・ 学力だけでは見出すことのできない能力や意欲、将来の可能性等を高校在学時の活動状況等から審査・評価する

学生には、以下の点を期待しています。

- | | |
|-------------|------------------------------|
| <知識・専門性> | 各学科の教育目的に相応しい知識を備えていること |
| <関心・態度・人格> | 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す意思を持つ者 |
| <思考・判断> | 課題を多角的にとらえ、創造的に考える意思を持つ者 |
| <実践的スキル・表現> | 多様な人々のなかで、自らを考え表現・発信する意思を持つ者 |

② 武蔵野大学中学校・高等学校

I. 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ・ 「明るい知性」と「豊かな情操」とを兼ね備えた「聡明にして実行力のある人物」であること。
- ・ 「人の幸せを願う心」「自己中心、自己絶対視を改める心」「正しい判断力」「良き社会人として通用する自立心」をもつ人物であること。
- ・ 何事にも真摯に取り組み、社会の幸せを希求する教養溢れる自律した人物であること。
- ・ 論理的思考力を身に付け、課題を正しく理解して解決を目指して挑戦できる人物であること。

II. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 各教科とも学びの基盤となる「知識と技能」を十分に習得できるように編成する。
- ・ Howに留まらず Whyを重視する学びを実践、論理的思考力を育成する。
- ・ 宗教教育を拠り所の一つとし、課題解決のための探究活動を実施する。
- ・ 探究活動について、課外活動も積極的に実施する。

III. 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ・ 本校の教育を受けるに足る資質と能力が十分にある生徒。
- ・ 人格形成のための六つの徳目「布施・持戒・忍辱・精進・禅定・知恵」の実践に共感する生徒。
- ・ 常に挑戦し続け、変化を恐れず、社会貢献するために自立する気持ちのある生徒。

③ 千代田国際中学校・武蔵野大学附属千代田高等学院

I. 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ・ 自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現を希求する人物である。
- ・ 真のオーナーシップとグローバル性を持つ人物である。

II. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 人生の目的（Purpose）を見つけるため、PBL/SBL の学習を通じて、Why にこだわる学びを実践し、実社会で生きて働く知識の習得と活用を目指す。
- ・ 多様性（Diversity）を重んじ、相手の考えを尊重できる真のコミュニケーション力を養う。そのために4技能を意識し、国際社会で通用する語学力を育成する。
- ・ 挑戦（Challenge）を楽しみ、失敗から学び続ける姿勢を育成する。
- ・ データを的確に読み、論理的に物事を考える姿勢を育成するため、ICT やAI を活用した最先端の学びを追求する。

III. 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ・ チャレンジすることを楽しみ、世界に貢献しようとする姿勢を持つ人。
- ・ 相手を否定せず、多様性を認めることができる人。
- ・ なぜ学ぶのかという目的意識を持ち、高い学力と広い知識や教養を身に付けるために意欲的に取り組む人。
- ・ 本校の教育内容を理解し、入学後も勉学に励み、世界に貢献する姿勢を持つ人。
- ・ 様々な活動（生徒会活動、部活動、資格取得、課外活動）に積極的に参加し、入学後もそれらの活動の成果が期待できる人。

④ 武蔵野大学附属幼稚園

I. 教育目標

「こころとからだを整え、生きる力を学ぶ」を教育目標に掲げ、仏教行事・伝統行事などを通じて、慈悲の心、利他の心を育み、すべてのいのちがつながりあっている世界の中で、感謝の思いで手を合わせる子どもを育てる。

具体的活動

- ・ 感動し、想像し、表現する
豊かな自然や動物とのふれあいを通じて、「いのち」のつながりやすばらしさに気づき、「作る、壊す、工夫する」を繰り返しながら、想像力を育み、感じたことを自由に表現できる力を育む。
- ・ 仲間とともに創り出し、育ちあう
思い切りからだを動かしながら、バランス感覚やしなやかな動きを身につけ、友達とのかかわりを通して互いの思いに気づき、人と共にいる喜びを感じ、ともに育ちあう。
- ・ 好奇心を持ち、新しい世界を知り、未来の扉を開く
遊びや様々な体験を通して新しい世界に気づき、絵本に親しんだりお話を聞きながら豊かな言葉の世界を広げる。

⑤ 武蔵野大学附属有明こども園

I. 教育理念

「響き合う保育」の教育理念の下、一人ひとりの個性を大切にしながら、子ども同士、子どもたちと保育者、保護者が互いに育ちあうことを目指す。具体的には以下の3つの取組をとおして、小学校からの教育課程に積極的に取り組む姿勢と、予測不可能な時代に必要な「生きる力」の基礎を育む。

- ・ 思う存分遊び込み、生きる力を身に付ける

自ら「遊び込む」ことで、ものの不思議さに気づき、好奇心・探究心を育む。また、楽しさや達成感を味わうことが自信につながり、“生きる力”の根源でもある自己肯定感を高める。

- ・ 本物に触れ、豊かな感性を育てる

武蔵野大学各学部と連携して、学内外の各分野の専門家による“わくわくプログラム”で本物に触れる体験を通して、豊かな感性を育む。

- ・ 仏の心を大切に

浄土真宗本願寺派の大学附属こども園として、生命の尊さに気づき、万物の恵みに感謝する、心優しい子どもを育てる。

(2) 中期的な計画及び事業計画の進捗達成状況

① 武蔵野大学・大学院

武蔵野大学・大学院では6つのチャレンジを掲げており、各チャレンジの主な取組の進捗・達成状況は以下のとおりである。

I. チャレンジ1 自己と世界を問う

- ・ 中期計画として「SDGsの17目標に向けての全学的な取組の推進」「自己の生き方を問いつつHappiness Creatorとして歩む志、能力の確立」を掲げており、令和5年度の事業計画では、高等教育センターとしての「響学開発センターの本格稼働」、「新カリキュラム検証」、「SDGs出版企画」等、ほぼすべての事業において改革が現在進行形で進んでいる。また、響学スパイラルは、学内定着を推進するためのFD研修やシラバスへの組み込み等を継続実施している。
- ・ SDGs年次報告書は昨年度に引き続き制作を進めており、令和6年度の白書の発行に向けては各学科等におけるSDGs実行宣言の取りまとめを開始した。また、目標として設定した「授業理解度の割合」、「授業の主体的取組」等は目標値を達成することができた。響学スパイラルの取組が一定以上あるため、これらが寄与していると想定される。
- ・ 今後は、学修者の主体的な学びの姿勢を引き出し知識・能力を涵養する学修の仕組みづくりに寄与することを目的とし、令和5年度から本格稼働している「響学開発センター」を中心に、教育支援・開発を強化していき、学修者本位の教育を進めていく。

II. チャレンジ2 未来の世界を創る creative な実践者輩出

- ・ 人材輩出においては、中期計画として「学修者本位のカリキュラムの構築と教育力の向上」と「未来の世界を担う creative な知をカタチにできる人材の輩出」を掲げ、前者ではDP・CPの見直し、サブメジャーコースの新規開講準備、教員評価プログラム「MU SDGs Best Teacher Award」を実施した。後者では、学科教員が企画するフィールド・スタディーズ(FS)について目標数値を超えるプログラムを実施し、自己の関心事や専門分野と社会とのつながりを体感する学外学修を推進した。また、従来から継続して推進している公務員の輩出及び「大学通信」指定400社・上場企業への就職支援だけではなく、アントレプレナーシップ学部教員と連携して起業相談受付体制を整備することで、起業家輩出に向けた組織的な対応を行った。今後も多様な人材輩出に向け、全学的な取組を強化する。
- ・ 研究推進について、Creative研究計画推進委員会において検討を行い、若手研究者の確保・育成を目的とした日本学術振興会からの特別研究員(ポストドクター等)を受け入れる雇用体制を構築し、本学における研究力の向上に努めた。また、更なる研究推進体制の構築に向けて、本学の研究活動にかかる全学的な方針・施策等を横断的かつ網羅的に検討・審議する会議体及び更なる研究資金獲得のためのリサーチアドミニストレーター(URA)の導入について検討を行った。その他、本学の研究活動について積極的に外部に発信するため大学ホームページにて研究に要する外部資金の獲得状況等を公表すると共に、今年度より業務提携を開始した技術移転機関(TLO)と連携のうえ企業等との共同研究等の機会創出のための産官学連携サロンなどを企画・立案し、次年度以降の開催に向けて準備を進めている。

Ⅲ. チャレンジ3 AI世界を先導する MUSIC

- ・ 中期計画「情報教育・学習環境の整備」について、施設設備関連の「教室環境のスマート化」「教室定員に対する無線 LAN セッション数及び電源の確保」は計画通りに進捗している。また、「学生コモンズ等共有スペースの整備」はチャレンジ3小委員会の中にタスクフォースを結成してSIプロトタイプ教室の整備・授業検証を実施した。
- ・ 中期計画「教育の情報・スマート化」について、「BYODを活かした響学スパイラル教育の全学推進」「LMS、AI サービス、動画コンテンツ等を活かした教育の実践」は、全学に展開推進ができています。
- ・ 中期計画「AI-Ready-Universityを目指した情報・AI教育のブランド化」について、「MUSIC発次世代型情報・AI教育の全学展開とサブメジャー化」は副専攻（AI活用エキスパートコース）修了生（一期生）を72名輩出し、学生たちに合った就職支援を進めている。

Ⅳ. チャレンジ4 Global & Universal

- ・ 中期計画として「世界に羽ばたき、世界を迎え入れる学部学科でのグローバル人材育成」「国内授業における外国語科目の強化」「ユニバーサルなキャンパス空間と学生支援」を掲げ、ニーズ調査や環境の整備を進めた。
- ・ 新型コロナウイルスや円安等の影響により目標達成が難しい中でも、春の短期語学研修においては昨年度比2倍の40名の参加があった。留学生については、アンケートで留学生支援施策調査を行うとともに、留学生と日本人の交流会を実施するなど、質の充実に努めた。
- ・ ユニバーサルなキャンパスの実現に向けて、合理的配慮を受ける学生を対象とした「大学の修学上の配慮に関する調査」など学生調査を実施。また、学生支援のワンストップ窓口（対面・オンライン）を開設した。
- ・ 教員のユニバーサル化においては、SOGIに関するFSDS研修を実施した。

Ⅴ. チャレンジ5 MU-GEN (Musashino University GENERations) につながる Infinite Linking

- ・ 中期計画として「大学の枠を超えてつながる新設プラットフォーム（オンライン+リアル）を活用した各種連携（中高大接続、地域連携、通信教育、大学間・産官学連携、卒業生との連携）」「武蔵野サンガの醸成（卒業生・退職者・在学生・教職員・後援会の連携）」を掲げ、事業計画の「卒業生ニーズを把握し、通信教育部、生涯学習講座等を活用した卒業生支援」「100周年記念事業を契機とした同窓会組織の活性化と、卒業後の継続的な情報接触を通じた関係性の強化」について、多くの事業で実施展開段階に至った。
- ・ プラットフォームの構築ではチャレンジ5独自の卒業生向けインターネットラジオという新たなプラットフォームを今年度より稼働した。
- ・ 併設校を含む2校と新規の高大接続プログラムを実施した。
- ・ 卒業生との繋がりについて、むらさき会会員データベースの運用支援を行った。

VI. チャレンジ6 共に5つのチャレンジを実現する学生の安定的な確保

- ・ 中期計画として「武蔵野大学のビジョンの社会的認知と共鳴する優秀な人材の確保」「Society 5.0時代のニーズに即応した学部学科の新設再編」「社会的評価指標の向上」「社会に輩出する学生数の減耗の極小化」を掲げ、事業計画の「入学者の充足」「新学部学科の設置や学部学科の再編の検討」「THE 大学ランキングの結果分析と対策の検討」等について、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 大学入試について、志願者は前年度から10%増となった。
- ・ 学部学科等の再編等について、ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科の令和6年4月開設に向けて準備を行った。
- ・ 「THE 大学ランキング」について、総合ランキング110位を目標とし、121-130位となった。「学生調査」の「教育充実度」に係る設問7つのうち6つにおいてスコアが前年度より上昇した。
- ・ 奨学金制度について、学内奨学金審査委員会が安定稼働、細則に基づく運用を実施するとともに、次年度に向けた見直しも行った。
- ・ 障害者差別解消法改正に伴う学内規程を制定、障害学生支援委員会の設置、新規作成した合理的配慮に関するハンドブックに基づく教職員向け研修を実施した。

② 武蔵野大学中学校・高等学校

- ・ 中期計画として「真なるグローバル人財育成のためのシステムの構築」「サイエンスを身につけるためのシステムの構築」「教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制の確立」等を掲げ、事業計画の「コースの再編と具体的なカリキュラムの構築」「国公立・最難関私立への指導強化」「各授業の品質と大学進学指導力の向上」「短期・長期留学制度の充実と海外留学生の受け入れ促進」「校内行事の整理・削減と一貫性の構築」「外部企業との連携」「オリジナル教材の開発」等について、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 施設設備の整備においては、ICT機器等の整備について、順調に継続して実施することができた。また、生徒数の増加に対して、既存の特別教室等の改修や生徒用の机椅子等の追加購入により普通教室の増設を実施した。
- ・ 広報活動について、校長講演に加え、在校生のプレゼン等、内容を工夫して、学校全体で取り組む説明会を繰り返し展開した。

③ 千代田国際中学校・武蔵野大学附属千代田高等学院

- ・ 中期計画として「国内難関大学・海外大学への合格力を高める」「想像力と教養力の育成」「教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制の確立」等を掲げ、事業計画の「海外トップ大学への進学のノウハウの蓄積」「国公立・最難関私立への指導力強化」「チームで進路指導を行う体制づくり」「外部企業等との連携」等について、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 設備の整備においては、千代田国際中学校の完成年度に合わせて、ICT機器を含め、中学校の全ての教室の改修を行った。また、廊下の壁面も新しく塗装をしておいた。

④ 武蔵野大学附属幼稚園・慈光保育園

- ・ 中期計画として「目標を具現化した競争力のある教育を企画・実施して、園児を成長させる」「きめ細かい保育を企画・実施して、園児を成長させる」「保護者も満足できる教育の実施」等を掲げ、事業計画の「育児相談の実施」「老朽化した遊具の更新」「保護者が望む課外活動の充実」「大学教員による講座の開設」「預かり保育の充実」等について、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 令和3年度に開始した課外活動は3年目を迎え、サッカー、体操、チアリーディング、書道、英語の5教室を開催し、その内容をより一層充実させた。また、絵本や音楽など文化プログラムに加え、専門講師による体操プログラムを加え、未就園児クラス「にこにこルーム」の活性化に取り組んだ。
- ・ 令和6年度は約245名（定員288名）の園児数で新学期を迎えることとなった。

⑤ 武蔵野大学附属有明こども園

- ・ 中期計画として「園児と保護者の満足度が高まる教育・保育の質の向上を目指しつつ、円滑で安定した運営を行う」「園児が自発的に遊び込み、生きる力を身につけられるよう、わくわくプログラムを実施する等、教育・保育環境を充実する」「地域に開かれた施設として、地域子育て支援プログラムを通し、こどもの健全育成及び子育て世代の家庭の支援を図る」等を掲げており、令和5年度における主な取組は以下のとおりであった。
- ・ 本園の教育的特色である「わくわくプログラム」は、武蔵野大学の大学教員をはじめとする内外の講師を迎え、全11種、のべ54回の多彩なプログラムを開催した。特に保護者から要望が多かった英語のプログラムを加えることができた。
- ・ 地域の子育て支援の一環として図書室「えほんのもり」の一般利用を令和5年8月より開始した。未就園児を持つ保護者及びその子を対象としたもので、利用者からの入園もあり園児募集にも効果があった。
- ・ 令和4年9月から通園バスを運行したことにより、令和5年4月の1号（幼稚園機能）の新規入園者は前年に比べて増加したものの、令和6年4月入園は減少となった。少子化と保育園志向がより強まっていること等が影響したと考えられる。

⑥ 法人

- ・ 中期計画として「仏教精神の普及」、「ガバナンス構築」、「教育環境の整備・構築」、「経営指標に基づく財政の安定化」、「各設置校及び法人のDX推進を支えるインフラ等整備」及び「100周年記念事業の企画推進とブランディング」等を掲げ、令和5年度事業計画に取り組んだ。
- ・ 法人ガバナンス改善・強化の一環として、常務理事、教学執行者及び教職員管理職に委任する業務の執行の範囲の見直しを行った。また、私立大学連盟のガバナンス・コード改正に伴い、学校法人武蔵野大学ガバナンス・コードを改正のうえ、自己点検を実施し、本法人のホームページにて点検結果を公表した。
- ・ 施設設備では、中長期施設整備計画に基づき、施設設備の改修工事等を実施した。大型施設案件では、武蔵野中高駐輪場付体育施設及び図書館の施工業者を選定し、12月に着工した。また、武蔵野キャンパス新大学図書館は、5月理事会で基本計画の審議・決定後、10月に設計業者を選定し、基本設計に取り掛かっている。
- ・ 財務については、財政分岐点指標の健全性に留意しつつ、年度内に決定した大型事業計画を反映し、中長期財政計画を3月に更新した。事業計画に基づき、創立100周年記念募金を継続し、取引先への募金活動を積極的に進めたほか、資金運用方針に基づく運用金融商品の購入を行うことにより、学納金以外の収入の多様化を進めた。
- ・ 学校法人武蔵野大学DX推進基本計画詳細を策定し、DX推進委員会及び4つの専門委員会の下、ITガバナンスの整備などに取り組んだ。
- ・ 100周年記念事業の各プロジェクトの具体化を進めた。PJ①スマートインテリジェンスキャンパス（SIC）ではメタバースキャンパスとなるグローブ（オンラインで繋がるキャンパス空間の入り口）や、各キャンパスのCG、教室が完成。また、SRM（Student Relationship Management）システムを構築。PJ②では生徒・学生参画によるスクールソングが完成。PJ⑤では学祖高楠順次郎漫画を発刊。令和6年度に実施する主要行事（記念講演会や記念祝賀会等）の日程及び会場が決定し詳細を詰めている。

3. 財務の概要

(1) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位:百万円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定資産	63,033	67,057	70,422	71,862	73,323
流動資産	10,300	8,573	7,510	8,332	8,710
資産の部 合計	73,333	75,630	77,932	80,194	82,034
固定負債	10,615	13,158	12,646	12,237	11,656
流動負債	4,332	4,541	5,154	4,899	5,231
負債の部 合計	14,947	17,699	17,800	17,136	16,887
基本金	65,701	67,896	69,089	70,611	72,207
繰越収支差額	-7,316	-9,964	-8,956	-7,553	-7,060
純資産の部 合計	58,386	57,932	60,132	63,058	65,147
負債及び純資産の部 合計	73,333	75,630	77,932	80,194	82,034

注 本表に記載した数値は、原則として単位未満を四捨五入した。したがって合計と内計が一致しない場合がある。(以下同様)

(2) 資金収支計算書の状況と経年比較

【収入の部】

(単位:百万円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	12,651	13,340	14,305	15,559	15,548
手数料収入	596	577	518	519	528
寄付金収入	181	259	135	190	194
補助金収入	2,275	2,881	3,046	3,324	3,275
資産売却収入	836	3,342	744	750	500
付随事業収入	310	205	256	294	282
受取利息・配当金収入	34	26	44	55	58
雑収入	405	417	704	499	447
借入金等収入	6,790	0	1	1	0
前受金収入	2,789	2,736	3,252	2,982	3,411
その他の収入	3,305	6,805	6,720	1,625	1,936
資金収入調整勘定	-2,678	-3,158	-3,150	-3,714	-3,441
前年度繰越支払資金	3,393	9,617	7,388	4,547	5,465
収入の部 合計	30,885	37,047	33,963	26,630	28,203

【支出の部】

(単位:百万円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費支出	7,880	7,866	8,265	8,802	8,962
教育研究経費支出	4,158	4,634	5,324	5,754	5,626
管理経費支出	953	872	967	1,069	1,504
借入金等利息支出	37	64	59	55	51
借入金等返済支出	169	369	369	470	469
施設関係支出	2,101	2,690	3,353	439	480
設備関係支出	321	510	746	886	376
資産運用支出	5,383	12,243	8,921	4,089	4,438
その他の支出	1,152	1,631	2,363	1,545	1,744
資金支出調整勘定	-885	-1,219	-953	-1,944	-1,276
翌年度繰越支払資金	9,617	7,388	4,547	5,465	5,829
支出の部 合計	30,885	37,047	33,963	26,630	28,203

(単位:百万円)

(a) 前年度繰越支払資金	3,393	9,617	7,388	4,547	5,465
(b) 翌年度繰越支払資金	9,617	7,388	4,547	5,465	5,829
差異 (b)-(a)	6,224	-2,229	-2,841	918	364

(3) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:百万円)

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	12,651	13,340	14,305	15,559	15,548
		手数料収入	596	577	518	519	528
		特別寄付金収入	97	210	103	115	180
		一般寄付金収入	1	1	0	0	0
		経常費等補助金収入	2,259	2,867	3,033	3,323	3,270
		付随事業収入	310	205	256	294	282
		雑収入	405	417	704	499	447
		教育活動資金収入計	16,318	17,617	18,918	20,309	20,255
	支出	人件費支出	7,880	7,866	8,265	8,802	8,962
		教育研究経費支出	4,158	4,634	5,324	5,754	5,626
管理経費支出		953	872	967	1,069	1,504	
教育活動資金支出計		12,991	13,372	14,556	15,625	16,092	
差引	3,327	4,245	4,362	4,684	4,163		
調整勘定等	178	180	-159	-65	288		
教育活動資金収支差額	3,505	4,425	4,203	4,619	4,451		
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	83	48	32	74	14
		施設設備補助金収入	16	13	13	1	5
		施設設備売却収入	0	0	0	0	0
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	638	40	1,035	400	250
		施設設備整備引当特定資産取崩収入	1,714	6,308	3,306	0	97
	施設整備等活動資金収入計	2,451	6,410	4,386	476	366	
	支出	施設関係支出	2,101	2,690	3,353	439	480
		設備関係支出	321	510	746	886	376
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	2,018	1,380	580	810	815
		施設設備整備引当特定資産繰入支出	2,339	3,788	2,516	1,942	2,083
施設整備等活動資金支出計	6,779	8,367	7,195	4,077	3,754		
差引	-4,328	-1,958	-2,808	-3,602	-3,388		
調整勘定等	-5	-45	-133	212	-177		
施設整備等活動資金収支差額	-4,333	-2,003	-2,942	-3,390	-3,565		
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		-828	2,422	1,261	1,230	886	
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	6,790	0	1	1	0
		有価証券売却収入	836	3,342	744	750	500
		第3号基本金引当特定資産取崩収入	415	1	803	298	948
		退職給与引当特定資産取崩収入	200	0	254	0	0
		修学旅行費等預り資産取崩収入	0	0	0	0	0
		預り金受入収入	64	169	77	45	23
		その他の収入	11	21	949	598	256
		小計	8,316	3,532	2,828	1,692	1,728
		受取利息・配当金収入	34	26	44	55	58
		収益事業収入	0	0	0	0	0
その他の活動資金収入計	8,350	3,558	2,872	1,746	1,785		
支出	借入金等返済支出	169	369	369	470	469	
	有価証券購入支出	0	0	4,741	1,198	300	
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	683	245	740	51	978	
	退職給与引当特定資産繰入支出	222	47	339	27	106	
	預り金支払支出	5	6	53	123	131	
	その他の支出	181	7,399	672	134	272	
	小計	1,259	8,067	6,915	2,003	2,257	
	借入金等利息支出	37	64	59	55	51	
	その他の活動資金支出計	1,297	8,131	6,975	2,058	2,308	
	差引	7,053	-4,573	-4,102	-312	-523	
調整勘定等	-1	-79	0	0	0		
その他の活動資金収支差額	7,053	-4,651	-4,102	-312	-523		
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)		6,224	-2,229	-2,841	918	362	
前年度繰越支払資金		3,393	9,617	7,388	4,547	5,465	
翌年度繰越支払資金		9,617	7,388	4,547	5,465	5,829	

(4) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位:百万円)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
教育活動収支	収入	学納金	12,651	13,340	14,305	15,559	15,548
		手数料	596	577	518	519	528
		寄付金	99	211	103	116	186
		経常費等補助金	2,259	2,867	3,033	3,323	3,270
		付随事業収入	310	205	256	294	282
		雑収入	406	419	391	501	448
		教育活動収入計 ①	16,320	17,619	18,605	20,311	20,261
教育活動収支	支出	人件費	7,902	7,913	8,350	8,829	9,068
		教育研究経費	5,683	6,315	7,238	7,563	7,513
		管理経費	1,109	1,045	1,171	1,203	1,609
		徴収不能額等	27	28	18	21	34
教育活動支出計 ②	14,721	15,301	16,778	17,616	18,225		
教育活動収支差額 ③=①-②		1,599	2,319	1,827	2,696	2,036	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	34	26	44	55	58
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計 ④	34	26	44	55	58	
	支出	借入金等利息	37	64	59	55	51
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計 ⑤	37	64	59	55	51		
教育活動外収支差額 ⑥=④-⑤		-3	-38	-15	-1	6	
経常収支差額 ⑦=③+⑥		1,596	2,281	1,811	2,695	2,043	
特別収支	収入	資産売却差額	0	241	36	0	0
		その他の特別収入	116	74	397	254	94
	特別収入計 ⑧	116	316	433	255	94	
	支出	資産処分差額	35	128	44	23	48
		その他の特別支出	35	2,923	0	0	0
特別支出計 ⑨	70	3,051	44	23	48		
特別収支差額 ⑩=⑧-⑨		46	-2,735	389	232	46	
基本金組入前当年度収支差額 ⑫=⑦+⑩		1,643	-454	2,201	2,926	2,089	
基本金組入額合計 ⑬		-2,278	-2,198	-1,315	-1,840	-1,598	
当年度収支差額 ⑮=⑫+⑬		-636	-2,652	885	1,086	491	
前年度繰越収支差額 ⑯		-6,687	-7,316	-9,964	-8,956	-7,553	
基本金取崩額 ⑰		7	3	123	318	1	
翌年度繰越収支差額 ⑱=⑮+⑯+⑰		-7,316	-9,964	-8,956	-7,553	-7,060	
事業活動収入		16,471	17,961	19,081	20,620	20,413	
事業活動支出		14,828	18,415	16,881	17,694	18,324	

(5) 財務比率の経年比較

- 資産運用収入には有価証券売却差額、有価証券処分差額を含み、補助金は経常費等補助金と施設設備補助金の合計額としている。

(各比率の見方)

- I. 事業活動収支差額比率は、経営上、財政的に余裕があるかないかを診断する重要な指標である。
 II. 学納金比率、III. 補助金比率、IV. 資産運用収入等比率は、収入構造（体質）を見るための指標である。
 V. 人件費比率 ~ IX. 基本金組入率の支出比率は、事業活動収入（又は学納金）が適切な割合で使用されているかを見る指標である。

項 目		本学		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
I 事業活動収支差額比率	(事業活動収入-事業活動支出) / 事業活動収入	11.5%	14.2%	10.2%
II 学納金比率	(学納金 / 事業活動収入)	75.0%	75.5%	76.2%
III 補助金比率	(補助金 / 事業活動収入)	16.0%	16.1%	16.0%
IV 資産運用収入等比率	(資産運用収入 / 事業活動収入)	0.3%	0.3%	0.3%
V 人件費比率	(人件費 / 事業活動収入)	43.8%	42.8%	44.4%
VI 人件費依存率	(人件費 / 学納金収入)	58.4%	56.7%	58.3%
VII 教育研究経費比率	(教育研究経費 / 事業活動収入)	37.9%	36.7%	36.8%
VIII 管理経費比率	(管理経費 / 事業活動収入)	6.1%	5.8%	7.9%
IX 基本金組入率	(基本金組入額 / 事業活動収入)	6.9%	8.9%	7.8%

(6) 有価証券の状況

① 総括表

(単位：円)

種類	当年度（令和6年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの (うち満期保有目的の債券)	99,354,000 (99,354,000)	99,763,000 (99,763,000)	409,000 (409,000)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの (うち満期保有目的の債券)	4,804,163,024 (3,983,701,024)	4,538,315,693 (3,756,606,493)	-265,847,331 (-227,094,531)
合計 (うち満期保有目的の債券)	4,903,517,024 (4,083,055,024)	4,638,078,693 (3,856,369,493)	-265,438,331 (-226,685,531)
時価のない有価証券	17,655,000		
有価証券合計	4,921,172,024		

② 明細表

(単位：円)

種類	当年度（令和6年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	3,235,339,000	3,129,108,200	-106,230,800
株式	—	—	—
投資信託	1,600,000,000	1,445,465,505	-154,534,495
貸付信託	—	—	—
その他	68,178,024	63,504,988	-4,673,036
合計	4,903,517,024	4,638,078,693	-265,438,331
時価のない有価証券	17,655,000		
有価証券合計	4,921,172,024		

(7) 借入金の状況

[主な借入金残高] ※1,000千円以上

(単位：百万円)

借入先	借入目的	借入金額	令和5年度末 借入残高
日本私立学校振興 ・共済事業団	有明校舎建築 (H22)	2,800	933
龍谷学事振興金庫	千代田高中施設設備 (H30)	200	133
日本私立学校振興 ・共済事業団	有明校舎建築 (R1)	2,789	2,590
市中金融機関	有明校舎建築 (R1)	4,000	3,200
合計		9,789	6,856

(8) 寄付金（募財）の状況

① 大学

I. 武蔵野大学 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1億5千万円
期 間	: 5年間（1年目）令和10年3月まで	
対 象	者	: (1) 大学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志
寄 付	金 額	: 0.5百万円 10 件
累 計	額	: 145.4百万円 2,760 件 達成率 96.9%

II. 武蔵野大学薬学部 教育研究施設・設備充実募財

目 標	額	: 1億円
期 間	: 5年間（1年目）令和10年3月まで	
対 象	者	: (1) 大学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志
寄 付	金 額	: 0.2百万円 5 件
累 計	額	: 49.9百万円 399 件 達成率 49.9%

III. 武蔵野大学 教育充実資金募財、奨学基金募財

目 標	額	: 3億円（各事業1.5億円）
期 間	: 10年間（7年目）令和9年3月まで	
対 象	者	: 法人
寄 付	金 額	: 1.6百万円 2 件
累 計	額	: 325.6百万円 45 件 達成率 108.5%

② 武蔵野中高

IV. 武蔵野大学高等学校・中学校 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1億円
期 間	: 5年間（1年目）令和10年3月まで	
対 象	者	: (1) 高校・中学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志
寄 付	金 額	: 0.8百万円 8 件
累 計	額	: 86.5百万円 1,199 件 達成率 86.5%

③ 千代田中高

V. 武蔵野大学附属千代田高等学院・千代田国際中学校 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1億円
期 間	: 5年間（1年目）令和10年3月まで	
対 象	者	: (1) 高校・中学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志
寄 付	金 額	: 0.6百万円 3 件
累 計	額	: 6.5百万円 74 件 達成率 6.5%

④ 幼稚園

VI. 武蔵野大学附属幼稚園 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1千万円
期 間	: 5年間（1年目）令和10年3月まで	
対 象	者	: (1) 幼稚園児の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志
寄 付	金 額	: 0.02百万円 2 件
累 計	額	: 6.8百万円 289 件 達成率 67.7%

⑤ 有明こども園

VII. 武蔵野大学附属有明こども園 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1千万円
期 間	: 5年間（1年目）令和10年3月まで	
対 象	者	: (1) こども園児の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志
寄 付	金 額	: 0.03百万円 1 件
累 計	額	: 0.1百万円 3 件 達成率 1.6%

⑥ 創立100周年記念募金

VIII. 武蔵野キャンパス図書館の建替え、千代田キャンパス施設の建替え、創立100周年記念基金、創立100周年記念事業プロジェクト【Project10】、教育施設設備充実募財（武蔵野大学、武蔵野大学高等学校・中学校、武蔵野大学附属千代田高等学院・千代田国際中学校、武蔵野大学附属幼稚園、武蔵野大学附属有明こども園）、教育研究施設・設備充実募財 教育施設設備充実募財（武蔵野大学薬学部）

目 標	額	: 20億円
期 間	: 8年間（2年目）令和12年3月まで	
対 象	者	: (1) 本学学生、生徒、園児の父母 (2) 本学教職員 (3) 法人 (4) その他有志
寄 付	金 額	: 155.4百万円 786 件
累 計	額	: 196.3百万円 1,836 件 達成率 9.8%

※ 上記①～⑤の寄付金は、令和5年8月～令和12年3月まで⑥創立100周年記念募金に統合
なお、累計額は平成15年度以降の額を表示

(9) 補助金の状況

(単位:千円)

補助金の種類	補助金額
私立大学等経常費補助金	1,424,069
一般補助	1,248,885
特別補助	175,184
成長力強化に貢献する質の高い教育	640
社会人の組織的な受入れ	3,510
大学等の国際交流の基盤整備	26,662
大学院等の機能の高度化	122,372
私立大学改革総合支援事業	22,000
修学支援授業料等減免費交付金	413,896
国庫からのその他の補助金	12,029
地方公共団体等からの補助金	1,425,323
私立学校経常費補助金	915,752
私立学校等授業料軽減補助金	116,354
その他の補助金	393,218
合 計	3,275,317

(10) 関連当事者等との取引

関連当事者

該当なし

(11) 出資会社の状況

会社等の名称 : 株式会社エムユービジネスサポート

事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容
建物の清掃・警備・保守管理業務、事務受託業務、学生生活支援事業、損保代理店業務等	10,000千円	100%	清掃・警備・保守管理業務、事務受託業務、学生生活支援事業、損保代理店業務等の委託等